

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	上村観光施設整備				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	上村自治振興課	課等名	上村自治振興センター		包含する細々目	1	7	1	4	17	3	800
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	必要	関連計画 条例等						
		事業期間	年度～	19年度	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	施設利用者	地区を訪れる観光客(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
				19		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	現在の施設を整備することにより、南アルプス観光の拠点とすることができる。	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑
			23目標	23実績		最終目標達成年度
			18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑
23目標			23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	遊歩道の整備及び付帯施設の整備を行う。7時間の遊歩道の完成により滞在型観光が可能となる。	尾高山から奥茶臼山まで歩道整備(4.8km)	工事請負費	998550
		18年度の実績		
	19年度計画	コースの案内・環境保護説明看板の設置 危険箇所の整備 ビューポイントの整備	工事請負費	800000

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	999	800
事業費計(A)	999	800	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	999	800

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムツ指標)と単位	上位成果指標の数値			
	訪れる人の滞在時間の延長を計ることに より経済効果は大である。	ハイキング等入り込み客数(人)	現状値	2000	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 観光事業収入の増を図る。	事業を取り巻く状況の変化 徐々にあるが増加してきている。	事業に対する市民や議会の意見
-------------------------------	---------------------------------	----------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 通過型から滞在型に移行し貢献できるものと期待する。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 南アルプス全山の一望できる場所は数少ないと思う。キャッチフレーズだけでも観光客の増加が期待でき、滞在時間の延長を図れる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 看板は老朽化した場合立て直しが必要		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 事業中途であり、安全面が全て手つかずの状態である。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) しらびそ高原から南アルプスへの登山道が崩落し、入山が困難な状態にあるが、このルートを使って南アルプスへのアタックが可能であるため、今後見直しを行い歩道の延長も考えたい。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) (類似事業名、理由) 危険性は少ないので、中学生の登山学習に利用できる。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市全体の観光客の増に繋がる。		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) 間伐材を利用し、コース案内板・環境保護啓発等を整備しコスト削減を図る。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 19 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 19年度完成
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	1 環境管理責任者の指示があったとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	